

就職支援協定

県、新たに3大学と締結

岐阜県と金城学院大学との
就職支援に関する協定締結式



協定書を交わす井川商
工労働部長と青山学
生部長＝県庁で

県は三十日、金城学院大（名古屋大）と専修大、立定を結んだ。県との協定締結は計十七大学となる。

金城学院大との締結式は県庁であり、県の井川孝明商工労働部長が協定書を交わした。学生の約15%は岐阜県出身で、うち約七割がUターン就職をしているといい、青山喜久子学生部長は「提携を力強く感じる」と述べた。今後は県内企業との関係者を招いたセミナーを新たに催したり、企業パンフレットの配布を増やしたりする。

専修大、立教大とは書面で協定を結んだ。それぞれ、県出身の学生の就職実態調査などを行う。

（鈴木智行）

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。
2018年8月11日 中日新聞社より